



-----ごあいさつ-----

能登半島地震・羽田空港事故でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますと共に救助・復旧に当たられている皆様に心より感謝申し上げます。引き続き物価高騰対策・ポストコロナの経済活性化に努めて参りますが、2024 年も政策実現に努めて参ります。今議会でバス減便問題と水害対策について行った質疑と提案をご紹介します。

■ 小松崎ふみよしが議会で行った一般質問の内容です ■

(1)公共交通について

1) 路線バスの減便と運転手不足深刻化をどうとらえているか？

【答弁】 現在、全国で約1万人の運転手が不足。今後高齢化や運転手の労働環境改善等を背景に、2030年度には3万6千人が不足する見通し。路線の減便・廃止拡大が危惧される。市内路線バス事業者10社も、今後少なくとも4社が何らかの形で減便を予定している。都市として対応する問題だと考えている。

【意見】 千葉市が減便問題で確かな対策を実施しないと、市民は不作為を感じる。コミュニティバス開設を目指していたが、私の案は商業施設の同意を得ており、財源的問題はありませんでしたが、四街道市の意向変化により、上手く行きませんでした。開設は出来てもコロナ禍と人手不足で苦かったかもしれませんが、一つの試みが叶わず残念でした。地域コミュニティ同様に廃線後、路線バスを元に戻す事は不可能で、外出しない高齢者の健康は損なわれ民生費が増大する。私も提案するが対策を示すべき。

2) 社会福祉施設の車両を使った買い物バスはどのような状況か。またどのような支援がされているか？

【答弁】 市内9か所（新型コロナウイルスの影響で現在6施設が運行休止）の福祉施設が、地域貢献として送迎用車両を活用した買い物支援を実施。経費のうち、ボランティア行事保険料や買い物バッグ代を社会福祉協議会が負担しているほか、買い物支援を希望する地域と社会福祉法人の調整やマッチングを行っている。

【意見】 デマンド交通、ライドシェアは運転手不足・事業者との調整でハードルが高い。社協の買い物支援を我孫子市同様に今後は市本体で行い、保険代上昇分（関係者以外も乗せる為、上昇）と燃料費等を民間バス事業者の了解を貰った地域に、増額支援の上実施すべき。また国に人件費を含めての支援規制緩和を求めるべき。福祉施設・企業・学校・教習所の送迎バスを補助の上活用した方が現実・効率的。



送迎バスの空席を活用した高齢者等の外出を応援!!【我孫子市】

我孫子市では自動車教習所、病院、大学、福祉施設への送迎バスの空席を活用して、65歳以上の高齢者や障がいをもつ方が、買い物などに利用できる外出応援事業を行っている。2,000名を超える市民が利用しており、市内10路線の送迎バス空席を本来の乗客優先で提供。

送迎バス→→→



・送迎バス利用にあたってのお願い（我孫子市の例）



本事業は事業者の厚意（無償協力）によって成り立っています。近年、一部利用者のマナー悪化により、上記のような苦情が寄せられ、協力事業者の大きな負担となっています。今後も本事業が継続できるよう利用者皆様のご協力をお願いします。

第2弾
中小企業・個人事業者のための
エネルギー価格等
高騰対策支援金
電気・ガス等をはじめとする物価高騰への支援

申請期間 令和6年1月31日(水)～6月14日(金)
※申込の受付は最終日の決まりあり

給付額 一律5万円を給付します

問合せ先・相談窓口
千葉市中小企業者エネルギー価格等
高騰対策支援金事務局
TEL043-223-5591
Eメール chibacity-chushoenergy@jtb.com

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園（評議員）
千葉市立山王小・横橋中学校、
千葉県立千葉北高等学校卒業
（同窓会副会長）
法政大学法学部法律学科卒業
（校友会千葉中央支部常任幹事）

職歴
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員（稲毛区選出）5期当選
千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
現在
自由民主党千葉市連合支部 稲毛支部長
千葉市社会福祉協議会山王地区部会長

37地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市アーチェリー協会会長
千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市少年軟式野球協会顧問
県美容業組合千葉支部顧問
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市テニス協会顧問
社会福祉法人愛の園評議員
千葉市グランドゴルフ協会名誉会長

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話:043-424-0001 FAX:043-421-6667
E-mail: info@2344.jp HP URL: 2344.jp
開設時間【水】13:30-16:00
（年始・夏季・休日は休止しております、
不在時は小松崎本人の携帯に転送）
お問合わせ・ご意見をお待ちしております。

(1) 公共交通について・・・表面からのつづき

3) 路線バス支援策について、特に市営バスを運行していない政令市ではどのようなになっているか？

【答弁】 対象13政令市の内、路線維持の為に運行欠損額等補助実施は11市。市によって面積や人口の分布状況等が異なり、予算規模は大きく異なるが、市街化区域面積等が比較的近い堺市の場合、運行欠損額補助の令和5年度予算額は約1億4千万円。現在、各路線バス事業者と、路線バスの維持、支援等で意見交換を実施、地域の暮らしを支える交通サービスの維持実現に取り組む。

【意見】 即効性ある対策は、財源的にバス事業者を支援する事。市営バスを持たない本市は財源的にもっと多額の支援をすべき、運転手不足による減便は仕方ないとしても、財源的減便は避けるべき。東京北西部では人口が多く、最低限の収益でも路線バスを減便しているケースがある。路線バスより貸切バス等を運行した場合(下の表参照)収益率が高い為です。札幌市は10億円以上を補助している。あくまで私の意見ですがバスの車両自体も不足しているようなので、思い切って、千葉市全体で3億から5億円補助しても商品券や現金を一律でバラマキをするより目的が明確で効果があり、あくまで減便を避ける為、まずは2年～3年と年限を決めて、後は市と事業者が今後社会状況に併せて対策を共に考えるべきです。



路線バスと貸し切りバスの収益率比較

ドライバー1人当たりの粗利は、路線バスは1日約1,000円、観光バスは約4万円（多摩地区の事業者の例、千葉でも概ね同様）。この格差は、貸し切りは運転手1人だが、路線バスは交代制の為余程の売り上げのある路線でないと収支が厳しい。路線バス維持には、貸し切り等の収支で補う必要があり、その人員を貸切バスに割くと路線バスの人員が不足する。事業者のバランスを取る努力も限界に近づいている。

路線バス	売上	貸切バス
22,000円		80,000円
21,000円	人件費・燃料費など	40,000円
1,000円	粗利	40,000円



冠水対策について

雨水貯留槽を設置。低地部などに雨水が集中して流れ込む箇所は、雨水管を増設し、施設整備を一部前倒し実施。調整池や河川に水位計や警報装置を設置し、住民の皆様へ大雨時の水位を知らせ、速やかな避



平常時
(9/7)



当時の状況
(9/8 11:45)

台風13号の影響により、#国道357号 千葉市稲毛区の黒砂陸橋周辺で道路冠水が発生している写真 2023年9月8日（国土交通省 千葉国道事務所）

(2) 冠水対策について

1) 平成25年の台風26号及び本年9月の台風13号の稲毛区における降雨状況と被害件数について

【答弁】 雨量観測地点の稲毛区役所降雨データは、平成25年10月に発生した台風26号では、1時間あたりの最大降雨量が53.5mm、降雨継続時間が約20時間、総雨量は274mm。本年9月の台風13号は、1時間での最大降雨量が50mm、降雨継続時間が約12時間、総雨量は214.5mm。稲毛区の被害件数は、平成25年台風26号では、床上・床下浸水被害が合わせて98件、本年の台風13号では11件。

【意見】 稲毛駅前や西千葉駅前では雨水と污水が合流しており、対策は難しいが、小仲台3丁目では排水管の接続を一部改良し、冠水の緩和と悪臭防止を要望する。市内で特に多くのバス路線通過道路となる、この小仲台3丁目やスポーツセンター脇と国道357号線黒砂陸橋交差点の道路は冠水対策すべき。床下浸水した、山王・小深地域では勾配のせいで水の流れが一つの向きではなく還流する。2箇所あるので緩和する策を検討して欲しい。床上・床下の内長沼町の3件は同じ水系、緩和策を早期にとって欲しい。以前にも要望したが、長い時間冠水が引かない場合、手前から早く通行不可能の表示をしてもらいたい。



2) 稲毛小学校付近の草野水のみち周辺における浸水対策の進捗状況と今後の予定は

【答弁】 稲毛小学校を含む草野排水区は、地下水が高く、住宅が密集し狭隘な道路状況から、施工可能な工法を検討する委託業務を実施し、3月末までには素案が出来る。なお当該排水区が潮位の影響を受けることから、水の流れを検証する水理実験を行う予定。

【意見】 稲毛小に隣接する草野水路の計画策定後、実施計画と速やかな工事実施を

